

■XMLファイルエラー概要

1 以下の項目は、レコード毎に検証が行われ、内容に応じたエラーコードが付される場合がある。

種別	コード	検証項目	検証内容
レコード検証 - CARFデータ・フィールド(60000 - 69999)	60001	Amount	Amount要素は、ゼロ(0)以上でなければならない。
	60002	Controlling Person must be omitted (when the Crypto-Asset User is an individual)	CryptoUsersが自然人(individual)の場合、実質的支配者(Controlling Person)を削除する必要がある。
	60005	Verify data sorting RCASP.ResCountry Code	RCASP(報告暗号資産交換業者等)配下のResCountry Codeを必ず記載する必要があり、それがメッセージ送信国コードと一致しなければならない。
	60007	BirthDate	生年月日は妥当な範囲に収まっている必要がある(例えば、1900年以前でなく、かつ報告対象年度終了日を超えない日付であること)。
	60008	Unknown TIN	RCASP、CryptoUsers、実質的支配者(Controlling Person)がTINを有していない場合、TIN要素の値はNOTINでなければならない。
	60009	Birth date for Individual RCASP	RCASPが自然人(individual)の場合、生年月日は1900-01-01でなければならない。
	60011	RCASP with Crypto Users	MessageTypeIndicがCARF701(新規)の場合、Crypto Users要素を提供する必要がある。

2 以下の項目は、送信済みレコードを修正する場合に生じる可能性のあるエラーである。

種別	コード	検証項目	検証内容
レコード検証 - 修正プロセスに使用されるフィールド(80000 - 89999)	80000	すでに使用されているDocRefID	このDocRefIDは、すでに別のレコードに使用されている。
	80001	DocRefIDの形式	DocRefIDの構成は、ユーザーガイドの規定通りの正しい形式でない。
	80002	不明なCorrDocRefId	CorrDocRefIdは不明なレコードを参照している。
	80003	無効なCorrDocRefId	修正されたレコードは、すでに無効である(以前の修正メッセージによって無効または期限切れとなっている)。そのため、このバージョンのレコードについての追加情報を一切受領してはならない。
	80004	新規データに対するCorrDocRefId	新規の要素にCorrDocRefIdが指定されている。
	80005	CorrDocRefIdの欠落	修正された要素にCorrDocRefIdが指定されていない。
	80006	DocSpec. CorrMessageRefID	DocSpec_Type内にCorrMessageRefIDを入力するのは禁止されている。
	80007	MessageSpec. CorrMessageRefID	Message Header内にCorrMessageRefIDを入力するのは禁止されている。
	80008	再送信オプション	再送信オプションは、RCASP要素にのみ使用できる。
	80009	RCASPの削除	関連するCrypto Users要素をすべて削除しないと、RCASP要素を削除できない。
	80010	Message TypeIndic	メッセージには新規レコード(OECD1)または修正／削除(OECD2およびOECD3)のいずれかを含めることができるが、それら両方の組み合わせを含めることはできない。
	80011	同一メッセージ内の2つのCorrDocRefID	同一のメッセージ内で同一のDocRefIDを2回修正または削除することはできない。
	80012	Reporting Period	1つのメッセージには、異なる2つの報告対象期間のデータを含めてはならない。
	80013	不明なDocRefID (再送信オプション)	再送信オプション(OECD0)において、不明なDocRefIDが指定されている。
	80014	無効なDocRefID (再送信オプション)	再送信オプション(OECD0)において指定されたDocRefIDはすでに無効である(以前の修正メッセージによって無効または期限切れとなっている)。

※OECDホームページ(<https://www.oecd.org>)に掲載されている「Crypto-Asset Reporting Framework Status Message XML Schema : User Guide for Tax Administrations」を基に作成